

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、以前同意を得て保管している試料（血液など）や患者さんの検査データなどを使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや同意にて保管されている試料（血液など）を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

超高感度酵素免疫測定法を用いた膵島関連自己抗体、C-ペプチド等の測定による臨床検査法の確立とその臨床応用および測定系の自動化

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院

【研究責任者】 高田康徳（愛媛大学医学系研究科糖尿病内科学講座 准教授）

【研究代表者】 高田康徳（愛媛大学医学系研究科糖尿病内科学講座 准教授）

【研究の目的】

過去に受診された糖尿病患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集するとともに、保管されて残っている試料（血清）を使用して、超高感度酵素免疫測定法により膵島関連自己抗体などを測定し、この新しい検査方法で正確な糖尿病の病型診断を行う事を研究目的としています。これを明らかにすることにより、今後、糖尿病患者さんの正確な病型診断による適切な治療法の選択につながると考えています。

【研究の方法】

2000年5月から2019年3月に愛媛大学医学部附属病院糖尿病内科を受診された患者さんのうち、同意書を頂いて採血をした患者さん。

（利用するカルテ情報）性別、年齢、糖尿病発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、治療状況 など

（利用する試料）保存している血液

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っていますが、今回使用するデータ/試料は当院を受診、入院された患者さんのみで、匿名化され用いられます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

＜試料・情報の管理責任者＞

高田康德（愛媛大学医学系研究科糖尿病内科学講座 准教授）

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

高田康德（愛媛大学医学系研究科糖尿病内科学講座 准教授）

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5647